

## ボランティア伝言板

シリーズ2・高齢者福祉編

# 食事が結ぶキラキラと光る温かい心を

## 小さな食事会が大きく育っています

老人給食協力会 ふきのとう代表 平野眞佐子さん(55歳)

子供たちに広場を残そうと始めた活動が、食事サービスを始めるきっかけになりました。四割弱増えることで、それまで見えなかったお年寄りの存在に気づいたからです。その後、お年寄り、子供たち、ボランティアが一緒に食卓を囲む機会を設けながら、徐々に現在の食事サービスの基盤を作りあげてきました。

活動を通して、私にはお年寄りキラキラと光る温かい心と通じているんです。ほんの小さな食事会から始まった活動が、今ではさまざまな方々の協力でさらに大きくなっています。

今年7月、日本財団の支援を得て開催した日本福祉・ボランティア21世紀を生きる市民活動「日本の未来とボランティア」も、そうした活動のうちのひとつです。



## 食事の見直しでどんどん元気になっています

パールライフ協会 理事長 新谷弘子さん(64歳)



お年寄りの健康を保つには、毎日の食事を意識することが大切だとはいけません。私たちの活動は簡単な食事援助から始まりましたが、在宅ケアを模索していくなかで、食事の大切さを痛感したのです。きちんと食事を摂るだけで、どんな元気になっていった方々をたくさん目にしていきます。そこで昨年から、配食サービスを始めました。

活動当初のシステム作りには苦労しましたが、日本財団からの援助もあって、調理器具を揃えることができました。

現在は、年間を通して毎日3食を揃えています。また、ケアワーカーが自分の弁当を持参して、食事を一緒に楽しむこともありま

す。食事を届けるだけでなく、心のこもったケアが大切だと考えています。

## 日本財団はボランティア活動を応援しています

福祉をはじめ、環境・自然保護など、日々さまざまなボランティア活動に懸命に取り組むボランティア・グループの皆様の手になりたい。ボランティア活動にエールを贈ることで、より豊かであたたかい社会づくりのお役に立ちたい。私たちの「ボランティア活動支援事業」は、その願いからスタートしました。



財団法人 日本財団  
The Nippon Foundation  
財団法人 日本船舶振興会の通称です  
<http://www.nippon-foundation.or.jp/>

いつでもお問い合わせください  
ボランティア支援部協力援助課  
〒105 東京都港区虎ノ門1-15-16(船舶振興ビル)  
**FAX03-3580-6215**

モーターボート競走の収益金の一部はボランティア活動支援事業にも役立てられています。